

東海



東海の景況は、公共工事が足許減少したものの、個人消費が緩やかな持ち直しの動き、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、**持ち直し**。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売やコンビニエンスストア販売が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。**住宅建築**は、持家が増加したものの、貸家が減少するなど、概ね横這い。**設備投資**は、省力化投資や工場新設投資がみられるなど、持ち直しの動き。**公共工事**は、国、市町村が減少するなど、足許減少。**輸出**は、科学光学機器、二輪自動車が増加したものの、石油製品、原動機、自動車部分品が増加するなど、持ち直しの動き。

生産活動は、窯業・土石製品、情報通信機械が減少したものの、化学、一般機械、電気機械が増加するなど、回復に向けた動き。**観光**は、観光地や温泉地の入込客が伸び悩むなど、弱含み。**雇用**は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢